

西東京市の給与・定員管理等について（令和7年）

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

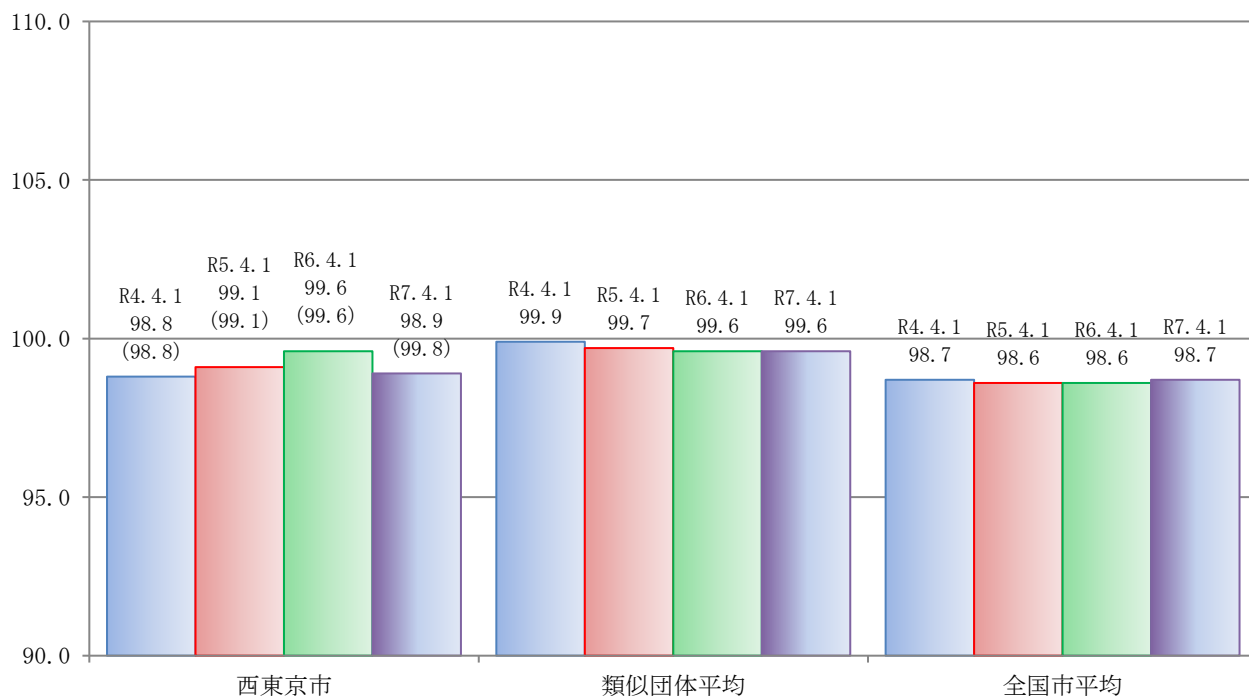
区分	住民基本台帳人口 (令和7年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 5年度 人件費率
6年度	人 206,181	千円 84,286,540	千円 2,522,847	千円 12,089,570	% 14.3	% 12.9

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考) 1人当たり給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 1人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
6年度	人 993	千円 3,682,564	千円 1,312,121	千円 1,761,418	千円 6,756,103	千円 6,804	千円 6,799

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
 2 職員数は、令和6年4月1日現在の人数です。また、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含みません。
 3 給与費は、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費を含みますが、会計年度任用職員の給与費は含みません。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数です。
 2 () 書きの数值は、地域手当補正後ラスパイレス指数です。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数です。
 (補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給割合) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給割合) により算出。)

- 3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。
- 4 ラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数を含む）の算出に当たっては、60歳に達した日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いています。

※ 令和7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由（給与制度又はその運用を踏まえ記載すること）

(4) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備（給与制度のアップデート）の実施状況について

【概要】 国家公務員給与においては、行政職俸給表（一）において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っています。その他、各種手当について見直しを行っています。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（実施（実施予定）時期、具体的な実施内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期） 令和8年4月1日
 （内容）一般行政職の給料表について、東京都の見直し内容を踏まえ、4級の初号付近の号給をカットし、同級の初号の給料月額の上上げを実施しました。

②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）国基準16%に対し、西東京市においても16%を支給しています。
 （実施時期）令和7年4月1日より実施しています。

（参考）

	各年度の支給割合		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国基準による支給割合	15%	15%	16%
西東京市の支給割合	15%	16%	16%

③その他の見直し内容

扶養手当、通勤手当及び管理職員特別勤務手当について、東京都と同様に見直しを実施しました。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（令和7年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
西東京市	40.3歳	316,586円	444,905円	385,896円
東京都	42.3歳	325,837円	470,901円	409,944円
国	41.9歳	332,237円	-	414,480円
類似団体	42.1歳	330,096円	437,516円	393,258円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する 民間の 類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	A/B
西東京市	57.6歳	30人	308,447円	382,903円	365,087円	-	-	-	-
うち清掃職員	57.2歳	10人	315,480円	389,819円	374,077円	廃棄物処理業	48.0歳	320,600円	1.22
うち用務員	58.0歳	8人	297,075円	351,478円	348,957円	用務員	48.8歳	267,400円	1.31
その他	57.6歳	12人	310,167円	398,089円	368,348円	-	-	-	-
東京都	50.3歳	1,189人	289,995円	391,360円	357,218円	-	-	-	-
国	51.3歳	1,703人	294,567円	-	337,907円	-	-	-	-
類似団体	52.5歳	87人	325,452円	388,929円	367,277円	-	-	-	-

区分	参考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
西東京市	-	-	-
うち清掃職員	6,315,228円	4,457,900円	1.42
うち用務員	5,630,836円	3,469,000円	1.62
その他	-	-	-

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています（直近の3か年平均）。

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではありません。

※ 年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

(注) 1 「平均給料月額」とは、令和7年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出しています。

(2) 職員の初任給の状況（令和7年4月1日現在）

区分		西東京市	東京都	国
一般行政職	大学卒	225,500円	225,500円	総合職 230,000円 一般職 220,000円
	高校卒	188,000円	188,000円	188,000円
技能労務職	高校卒	185,400円	185,400円	-

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額（令和7年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	275,193円	355,530円	398,153円	436,231円
	高校卒	242,525円	294,000円	322,900円	325,500円

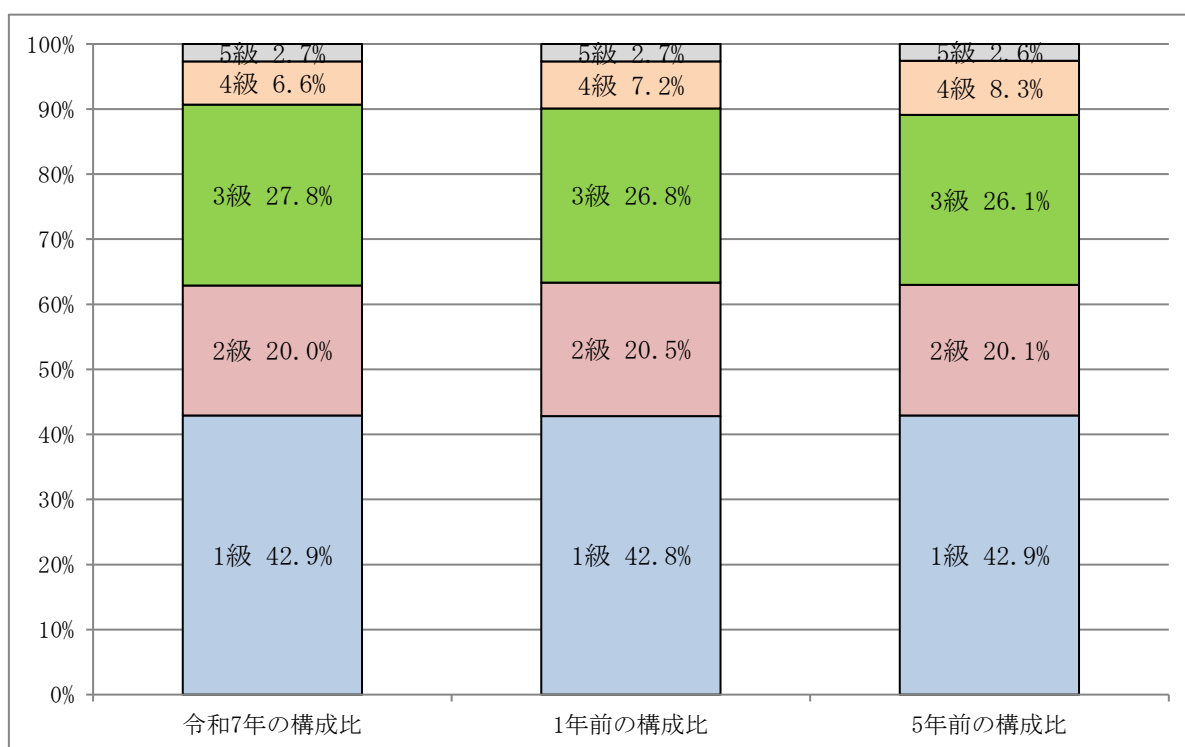
- (注) 1 経験年数に該当職員がいない場合、近似の階層も含み、平均を算出しています。
 2 技能労務職については、少人数のため表示していません。

3 一般行政職の級別職員数等の状況

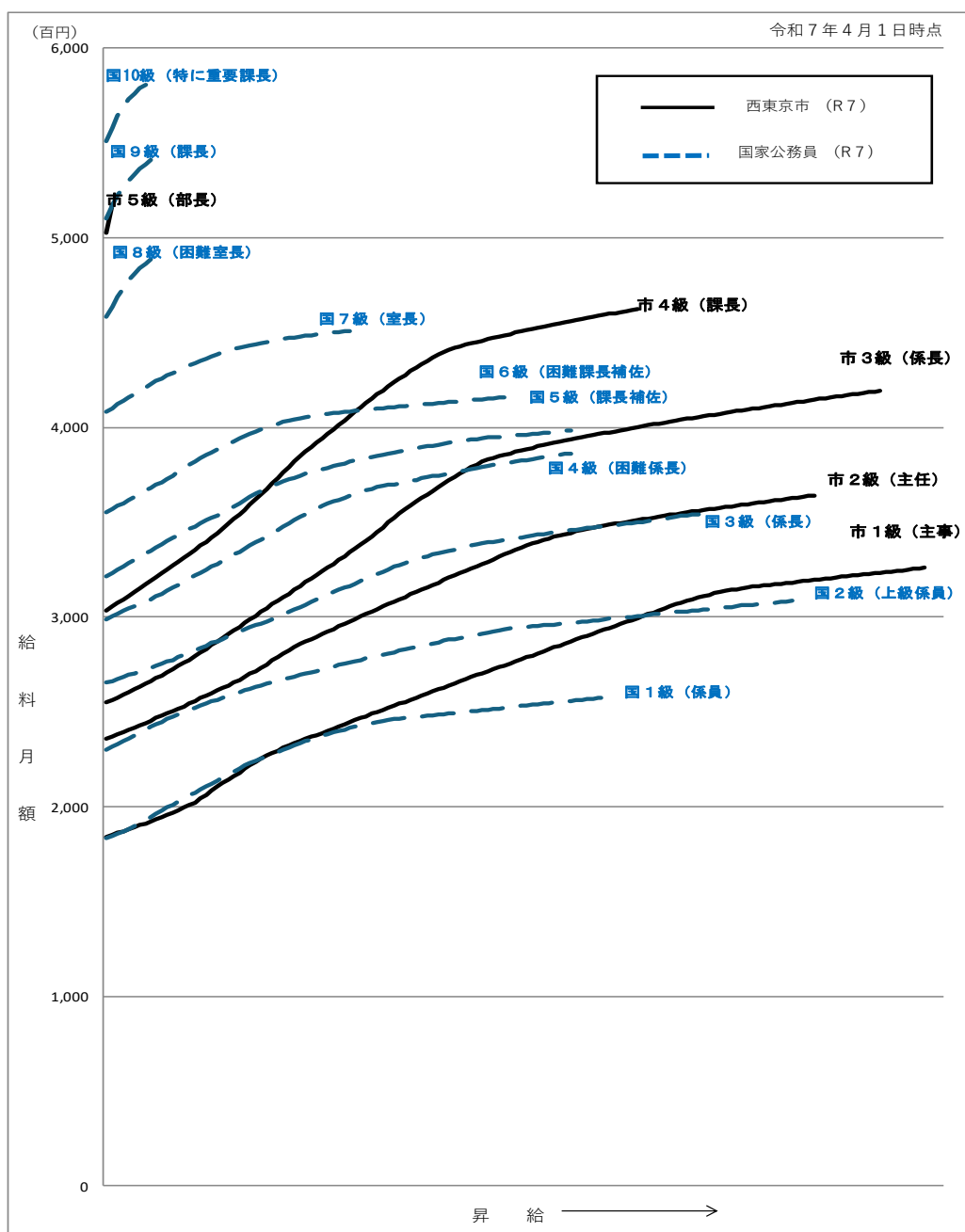
(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（令和7年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
5級	部長	20人	2.7%	502,700円	517,900円
4級	部次長・課長	48人	6.6%	303,400円	462,200円
3級	課長補佐・係長	203人	27.8%	254,800円	419,300円
2級	主任	146人	20.0%	235,800円	364,100円
1級	主事	312人	42.9%	184,100円	325,800円

- (注) 1 西東京市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（令和7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）（西東京市）

令和7年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
上位、標準、下位の区分	○	○	○	○
上位、標準の区分				
標準、下位の区分				
標準の区分のみ（一律）	/		/	
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

西東京市	東京都	国
1人当たり平均支給額 (6年度) 2,277千円	1人当たり平均支給額 (6年度) 2,053千円	-
(6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.35月分 (1.40)月分 (1.15)月分	(6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.35月分 (1.40)月分 (1.15)月分	(6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50月分 2.10月分 (1.40)月分 (1.00)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 3~20%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・職務段階別加算 3~20% ・管理職加算 15~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) () 内は、暫定再任用職員に係る支給割合です。

○勤勉手当への人事評価の活用状況 (一般行政職) (西東京市)

令和7年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ. 人事評価を活用している	○		○	
活用している成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率	支給可能な成績率	支給実績がある成績率
上位、標準、下位の成績率	○	○	○	○
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ (一律)				
ロ. 人事評価を活用していない				
活用予定時期				

(2) 退職手当 (令和7年4月1日現在)

西東京市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	23.00月分	23.00月分	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	30.50月分	30.50月分	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	43.00月分	43.00月分	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
最高限度額	43.00月分	43.00月分	最高限度額	47.709月分	47.709月分
調整率	-		調整率	83.7/100	
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)	
1人当たり平均支給額	自己都合 4,568千円	勸奨・定年 29,111千円	-		

(注) 1 退職手当の1人当たり平均支給額は、6年度に退職した職員に支給された平均額です。

2 「勸奨・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合があります。

(3) 地域手当（令和7年4月1日現在）

支給実績（6年度決算）		611,758千円	
支給職員1人平均支給年額（6年度決算）		559,706円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度（支給率）
西東京市	16%	1,111人	15%
支給割合が国の制度による支給割合を上回る場合、その理由	当市が特別区に隣接していること、近隣市町村の改正状況、人材確保への影響等を勘案して、段階的な見直しは実施せずに16%へ改定しています。		

(4) 特殊勤務手当（令和7年4月1日現在）

支給実績（6年度決算）		35,400円		
支給職員1人平均支給年額（6年度決算）		2,529円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（6年度）		1%		
手当の種類（手当数）		4		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績（6年度決算）	左記職員に対する支給単価
感染症消毒等作業従事手当	感染症消毒等の作業に従事した職員	感染症消毒等の作業	0千円	1日につき1,000円
行路病人又は行路死亡人取扱手当	行路病人等の取り扱いに従事した職員	行路病人等の取り扱い	0千円	病人1人につき1,000円 死亡人1体につき2,000円
犬猫等死体処理手当	犬猫等の死体処理作業に直接従事した職員	犬猫等の死体処理作業	36千円	1体につき300円
昆虫等駆除手当	人体に危険を及ぼすおそれのある昆虫等の駆除作業に従事した職員	人体に危険を及ぼすおそれのある昆虫等の駆除作業	0千円	1日につき300円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（6年度決算）	522,042千円
支給職員1人平均支給年額（6年度決算）	521千円
支給実績（5年度決算）	507,954千円
支給職員1人平均支給年額（5年度決算）	508千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（時間外勤務手当の支給対象とはならない管理職を除く。）であり、短時間勤務職員を含みません。

(6) その他の手当 (令和7年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (6年度)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (6年度決算)
扶養手当	子 11,500 円 その他の親族 6,000 円 特定期間加算 4,000 円	異なる	支給単価	59,018 千円	187 千円
住居手当	年度末年齢 35 歳未満の借家・借 間居住者である世帯主など 15,000 円	異なる	支給対象 及び単価	29,374 千円	163 千円
通勤手当	交通機関 1 か月当たり支給限度額 150,000 円 交通用具 通勤距離に応じて支給	異なる	支給単価	97,031 千円	104 千円
管理職手当	部長・担当部長 109,000 円 参与 101,000 円 副参与 88,000 円 課長 83,000 円 主幹 79,000 円	異なる	支給単価	79,227 千円	1,003 千円
宿日直手当	宿日直勤務 1 回につき、10,000 円を超えない範囲内	異なる	支給単価	0 千円	0 千円
単身赴任手 当	部署を異にする異動等に伴って 住居を移転し、やむを得ない事 情により同居していた配偶者と 別居して単身で生活することと なった職員に支給 基本額 30,000 円 加算額 4,000 円	異なる	加算額	0 千円	0 千円

5 特別職の報酬等の状況（令和7年4月1日現在）

区分		給料月額等		
給料	市長 副市長 教育長 常勤監査委員	970,000円 860,000円 763,000円 666,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
			1,130,000円	643,500円
報酬	議長	614,000円	724,000円	463,000円
	副議長	549,000円	660,000円	420,000円
	議員	517,000円	606,000円	400,000円
期末手当	市長 副市長 教育長 常勤監査委員	(6年度支給割合)	4.45月分	
	議長 副議長 議員	(6年度支給割合)	4.45月分	
退職手当		(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	市長	給料月額×在職年数×350/100	13,580,000円	任期ごと
	副市長	給料月額×在職年数×300/100	10,320,000円	任期ごと
	教育長	給料月額×在職年数×250/100	5,722,500円	任期ごと
	常勤監査委員	給料月額×在職年数×250/100	6,660,000円	任期ごと
	備考			

(注) 1 期末手当については、加算措置（20%）があります。

2 退職手当の「1期の手当額」は、令和7年4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月。教育長は3年＝36月）務めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

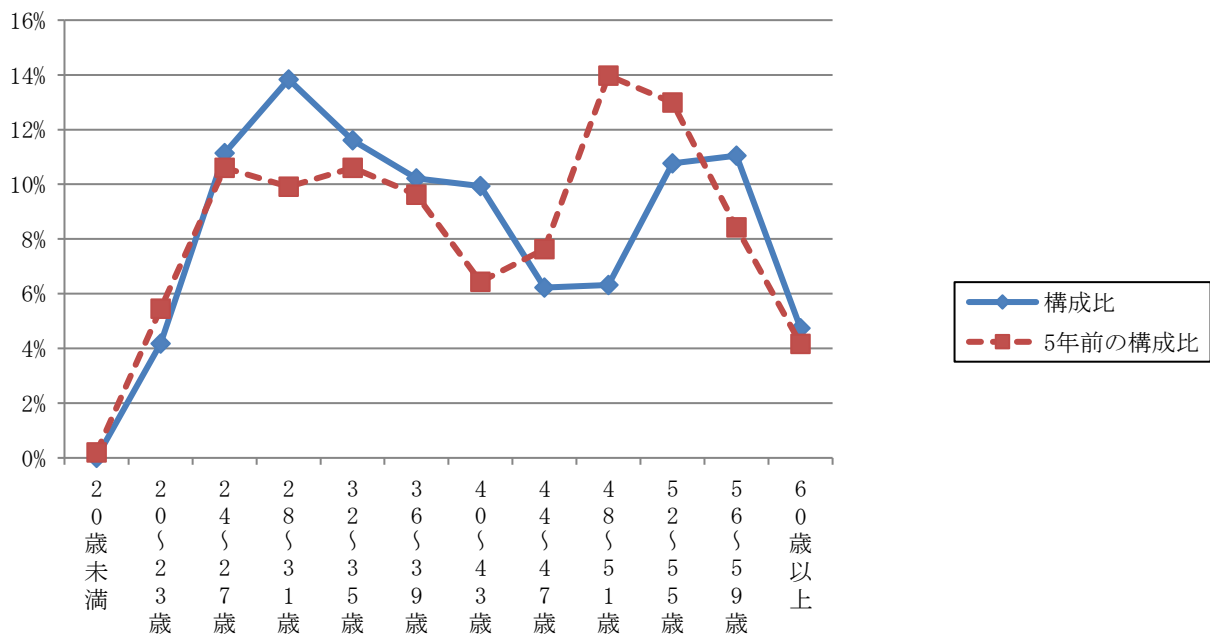
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在) (単位:人)

部門	区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
		令和6年	令和7年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	11	11	0	
		総務	226	232	6	業務増
		税務	66	69	3	その他
		労働	1	1	0	
		農水	6	5	△1	その他
		商工	6	5	△1	その他
		土木	94	95	1	業務増
		民生	394	403	9	その他
		衛生	60	61	1	その他
		計	864	882	18	<参考> 人口1万人当たり職員数 42.78人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 45.44人)
	教育部門	129	129	0		
小計	993	1,011	18	<参考> 人口1万人当たり職員数 49.03人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 61.61人)		
会計部門 等 公営企業	下水道	10	11	1	その他	
	その他	54	55	1	その他	
	小計	64	66	2		
合計		1,057 (1,138)	1,077 (1,138)	20 (0)	<参考> 人口1万人当たり職員数 52.24人	

- (注) 1 地方公共団体定員管理調査において報告した職員数です。
 2 職員数は、一般職に属する職員数で、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除きます。
 3 () 内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況 (令和7年4月1日現在)



年齢	20歳 未満	20歳 ～ 23歳	24歳 ～ 27歳	28歳 ～ 31歳	32歳 ～ 35歳	36歳 ～ 39歳	40歳 ～ 43歳	44歳 ～ 47歳	48歳 ～ 51歳	52歳 ～ 55歳	56歳 ～ 59歳	60歳 以上	合計
職員数	人 0	人 45	人 120	人 149	人 125	人 110	人 107	人 67	人 68	人 116	人 119	人 51	人 1,077

(注) 地方公共団体定員管理調査において報告した職員数です。

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門 \ 年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	過去5年間の 増減数 (率)
一般行政	819	828	826	852	864	882	63 (7.7%)
教育	129	126	125	129	129	129	0 (0.0%)
普通会計	948	954	951	981	993	1,011	63 (6.6%)
公営企業等会計	61	63	61	65	64	66	5 (8.2%)
総合計	1,009	1,017	1,012	1,046	1,057	1,077	68 (6.7%)

(注) 地方公共団体定員管理調査において報告した部門別職員数です。